

2023 年 7 月 13 日

2023 年 6 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は前月に引き続き、学参・金融関連に動きがみられたものの、全体的には低調で前年を大幅に下回った。

巻取は株主総会、生損保、チラシ関連に動きがあり前年並みに推移したが、全体的に荷動きとしてはあまり良くない状況だった。

（前年比 平判 89.0% 巻取 99.2%）

再生紙平判は入札案件の受注が多少増え、前年を若干上回った。

再生紙巻取も大口案件の定期品に加え入札案件の受注が増え、前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 105.0% 再生上質巻取 114.2% 再生上質計 109.9%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.8%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 72.1%）

<A2 コート>

平判はスーパーやホームセンター、食品デリバリーや飲食店、旅行関連の定期チラシで動きがみられたが、学習塾、金融、生損保で落ち込み、小規模雑誌の廃刊、休刊の動きが続いており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は食品デリバリー、不動産、通販で動きがみられたものの、雑誌関連の落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を大きく下回った。

（前年比 平判 91.8% 巻取 76.7% 全体 88.4%）

（2019 年比 A2 コート計 69.0%）

<A3 コート>

株主総会とスーパー、量販店、ドラッグストア、食品デリバリーの定期チラシで一部動きがあったが、金融・生損保の落ち込みが大きかった。また目立ったスポットも見られなかったため、平判、巻取共に前年を大きく下回った。

（前年比 平判 83.5% 巻取 72.3% 全体 75.3%）

（2019 年比 A3 コート計 63.2%）

<ノーカーボン紙>

金融、生損保の申込書など、全般的に帳票の Web 化が進み、自治体案件も数量減少傾向。コロナワクチン予診票などの動きも見られず、巻平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.1% 巻取 86.0%）

<上質フォーム>

株主総会や各自治体の国保カードなど厚物の需要は例年通りあるものの、前年あった参院選の選挙需要やコロナ関連の通知物など落ち込みが大きく、民間案件も低調で前年を大きく下回った。

(前年比 77.4%)

<包装用紙>

特殊両更は株式関連、役所関連の動きも一段落し、さらに一般企業向け社用封筒の動きもなく前年を下回った。

(前年比 93.4%)

軽包装は全体的に印刷物の動きが低調な中、製本会社向けの雑包装用途の動きが悪かった。また前年同月は大口のスポットがあったため大きく下回った。

(前年比 44.2%)

両更晒は通信会社向け封筒、手提げ袋用途に一部動きがあったものの全般的な動きは低調で前年を下回った。

(前年比 95.7%)

色クラフトは金融機関向け封筒、通信会社向け封筒に一部動きがあったものの全般的な商流の変化に伴う用紙変更が影響し前年を僅かに下回った。

(前年比 98.9%)

純白ロールは外国人観光客の増加に伴いインバウンド需要の回復から土産の包装紙に動きがみられた。またスーパーの包装紙にも動きがみられたが、前年を若干下回った。

(前年比 96.2%)

包装紙全体でも 71.4%と前年を大きく下回った。

<板紙>

コートボールは BOX ティッシュからソフトパックに切り替えの動きがあるものの菓子や医薬向けが好調であった。

高板はトレーディングカード、マスク着用緩和により化粧品向けが好調なものの主力の商印や POP、出版用途は低調であった。

特板はファストフードやコンビニ惣菜向けの一次容器に堅調な動きがあった。

チップボールは写真集や書籍上製本の動きが鈍く低調だったが貼箱向けの動きが好調であった。

(前年比 110.3%)